

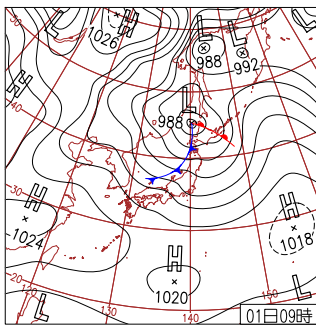
日々の天気図

No. 144

2014年 1月

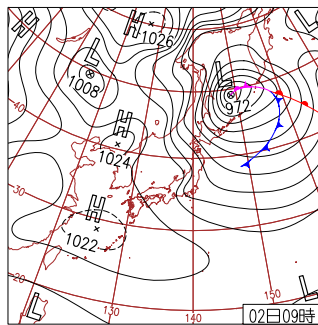
- 9日、冬型の気圧配置が強まり西～北日本で雪や雨。日降雪量は、新潟県妙高市関山で69cm、鳥取県大山町大山で65cm、岡山県真庭市上長田で63cm。
- 沖縄・奄美では月降水量が平年の35%、月間日照時間が平年の175%となり共に1月の記録を更新。

(気象庁予報部予報課)



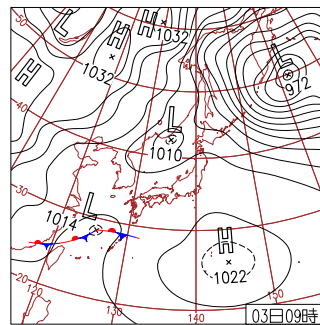
1日(水)暖かい元旦

宗谷海峡付近の低気圧に向かって暖気が流れ込み、全国的に気温上昇。最高・最低気温は全国的に3月上旬～4月上旬並の所が多い。北日本は風が強く、北海道を中心に暴風雪に。



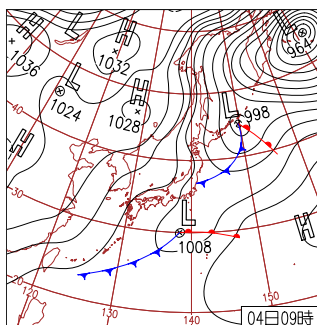
2日(木)暴風の峠越える

北陸以北の日本海側は雪。太平洋側は晴れて西日本は3月並の最高気温。秋田県八森では1月の記録を更新する最大風速21.2m/s。山形県酒田市飛鳥で最大瞬間風速33.6m/s。



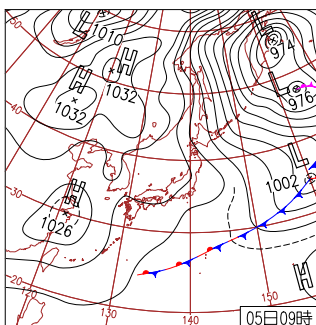
3日(金)二つの低気圧

日本海の低気圧と東シナ海の前線を伴った低気圧が東進。北日本の日本海側を中心に雪や雨、沖縄・奄美～九州南部も雨。長野県菅平で、最低気温が平年より9.1℃低い-20.7℃に。



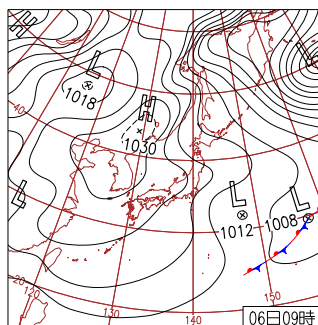
4日(土)冬型の気圧配置強まる

北海道の東と日本の南海上を低気圧が東進。冬型の気圧配置が強まり、日本海側で雪や雨。北海道で大雪。沖縄・奄美では、前線により朝まで雨。鳥取市鹿野で日降水量73mm。



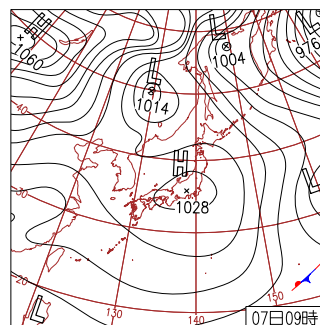
5日(日)西～東日本は冬型緩む

北日本中心に冬型気圧配置となり、北陸～北日本は日本海側中心に雪や雨。寒気や気圧の谷の影響により、沖縄・奄美、九州、関東なども曇りや雨。横浜市でツバキ開花。



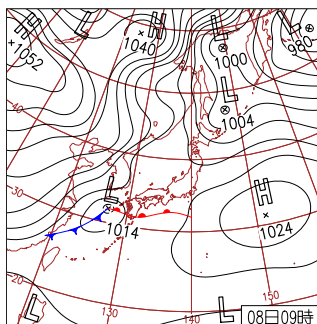
6日(月)弱い冬型続く

日本海側は雪または雨、西～東日本の太平洋側はよく晴れる。北日本中心に冷え込みが強く、旭川では最低気温が平年より5℃低い-16.4℃。長崎で平年より16日遅い初氷。



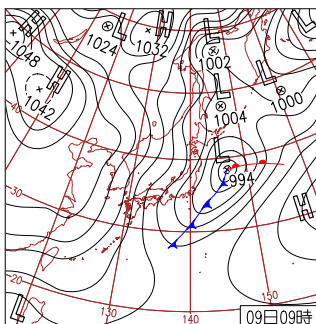
7日(火)移動性高気圧が通過

日中は全国的に晴れたが、夜は気圧の谷の影響により西日本で雲が広がり、九州や四国の太平洋側は雨。内陸部を中心に気温は低く、沖縄を除く地点の約8割、713地点で冬日。



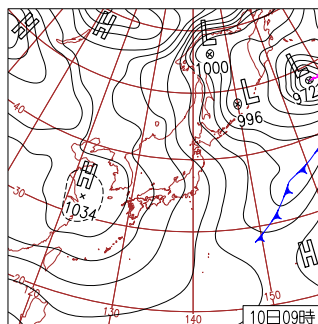
8日(水)広い範囲で雨

低気圧が東シナ海から四国の南海上へ進み、西日本から東日本の広い範囲で雨。久しぶりにまとまった雨となった所も多く、千葉県勝浦では日降水量70.5mm。



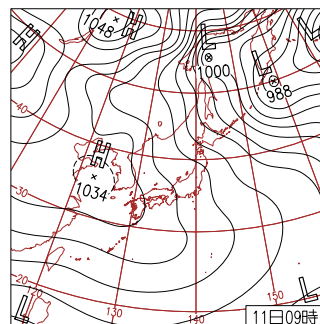
9日(木)冬型の気圧配置強まる

低気圧が日本の東海上で発達し、冬型の気圧配置強まる。日本海側で雪や雨。島根県安来市伯太で日降水量50mm、1月の1位を更新。横浜で初雪。沖縄県と茨城県で震度4の地震。



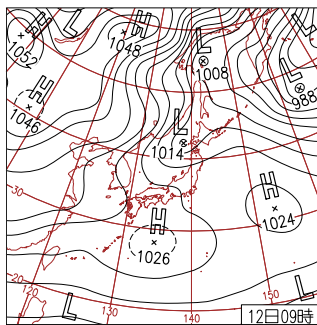
10日(金)強い寒気

冬型気圧配置で全国的に低温。日本海側を中心に雪や雨、太平洋側でも一部で雪。北海道はすべての観測地点で、東北もほとんどの地点で真冬日。西日本も冬日多数。神戸で初氷。



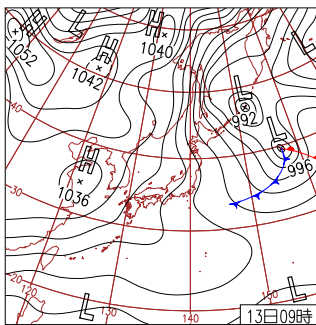
11日(土)寒さ続く

朝の最低気温は東・北日本太平洋側を中心に平年を下回り、連日全観測地点の約8割で冬日。最高気温もほぼ全国的に平年を下回る。青森市酸ヶ湯で積雪の深さが3mに到達。



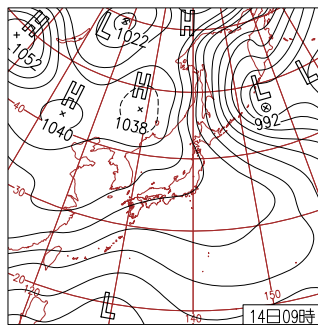
12日(日)低気圧発達

西日本は概ね晴れたが、気圧の谷の影響により沖縄～九州は曇りや雨。発達中の低気圧により北日本は風が強まり東北の太平洋側も雪。沖縄県久米島町謝名堂で28.5mm/1hの雨。



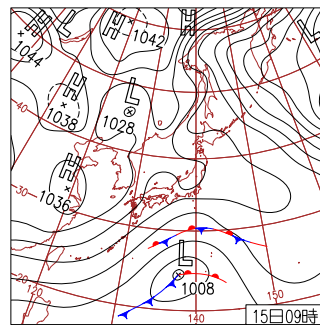
13日(月)寒い成人の日

冬型の気圧配置。上空1500m付近で-6℃以下の寒気が本州南岸まで南下し各地で冷え込む。最低気温は北日本中心に今季最低を更新し、北海道中頓別と枝幸町歌登で共に-29.5℃。



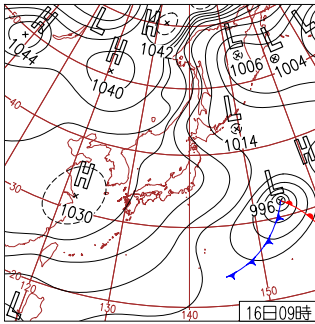
14日(火)冬型の気圧配置緩む

北日本で寒気の影響が残ったが、本州付近は高気圧に覆われる。東～北日本の日本海側で曇りや雪の他は、概ね晴れ。沖縄の南で前線が発生し、沖縄～九州南部で曇りや雨。

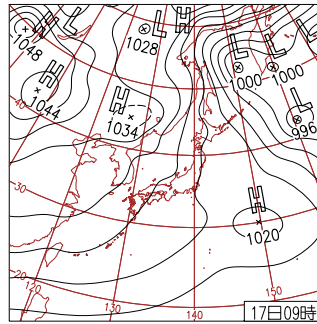


15日(水)太平洋側の一部で雪

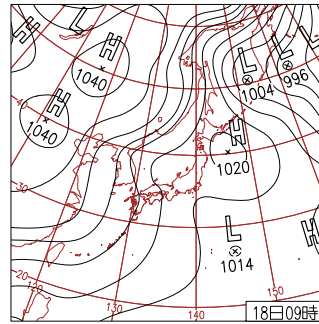
南海上の前線により、西日本や東日本太平洋側の一部で雪や雨。寒気の影響により、沖縄・奄美で雨、山陰～北陸・北日本で雪や雨。静岡で初雪、那覇市でヒカンザクラ開花。



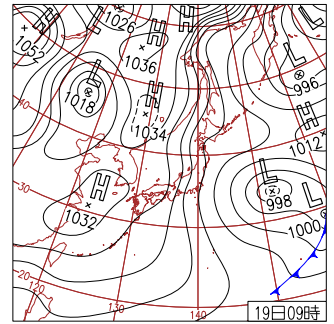
16日(木)再び冬型気圧配置に
日本海側は雪や雨、青森市酸ヶ湯で日降雪量29cm。最低気温は九州・東海・関東甲信等で平年よりかなり低く、東京と横浜は今季初の氷点下。石垣市等でヒカンザクラ開花。



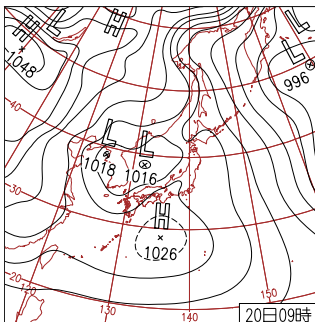
17日(金)北海道江丹別で-30.5℃
日本海側は雪が続く。北海道は気温が低く、北海道の観測地点の約1/3にあたる58地点で最低気温-20℃以下を記録。旭川市江丹別では-30.5℃となり、今季国内初の-30℃以下。



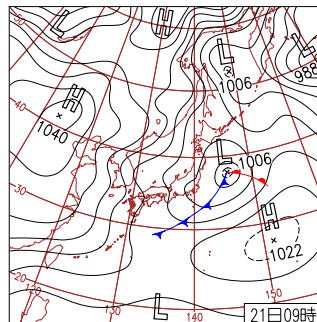
18日(土)北日本冷え込む
寒気の影響で日本海側を中心に雪や雨。北日本は最低気温が平年を10℃前後下回った所もあり、青森県黒石-18.3℃、平川市碓ヶ関-16.6℃で、共に史上1位更新。台風第1号発生。



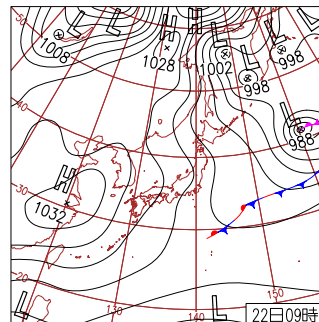
19日(日)太平洋側平野部でも雪
冬型の気圧配置が強まり上空に強い寒気が流入したため、日本海側を中心に関東等太平洋側の平野部でも広範囲に雪。長野県野沢温泉で日降雪量48cm。銚子・熊谷・水戸で初雪。



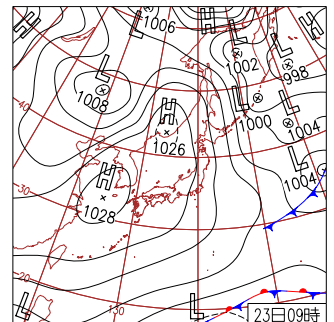
20日(月)全国的に低温の大寒
日本海を低気圧が進み、西日本や北陸、北日本の日本海側で雪や雨。東海・関東や北日本の太平洋側は晴れや曇り。朝の最低気温は全国的に低く、北海道枝幸町歌登で-31.3℃。



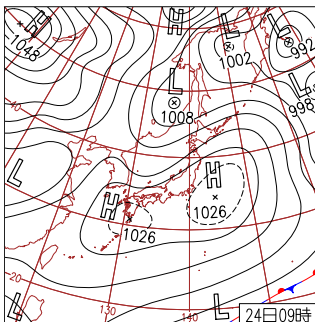
21日(火)網走で流氷初日
低気圧が日本の東に去り冬型の気圧配置に。日本付近では寒気に伴う筋状雲域が拡大し、日本海側は雪。はじめ晴れた太平洋側も所々で雨や雪。佐賀市・福岡市でスイセン開花。



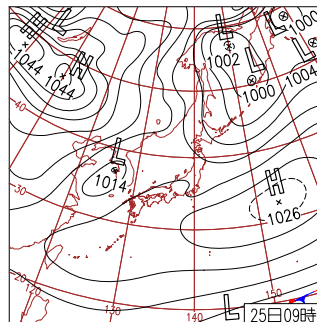
22日(水)全国的に寒い一日
冬型の気圧配置が継続。日本海側は雪、太平洋側は晴れ。全国的に日中の気温は低く、父島を除く全ての観測地点で最高気温が20℃未満。北海道は全ての地点で真冬日。



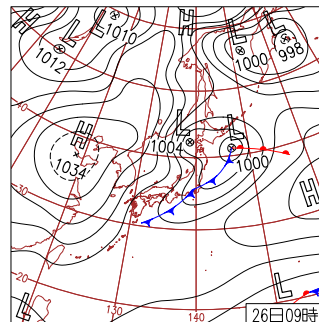
23日(木)北海道で-30℃以下
冬型気圧配置は次第に緩み、北陸以北の日本海側を除いて概ね晴れ。北海道は寒気が残る、下川の-31.1℃をはじめ、上川地方の3地点で最低気温が-30℃以下に。松山市でウメ開花。



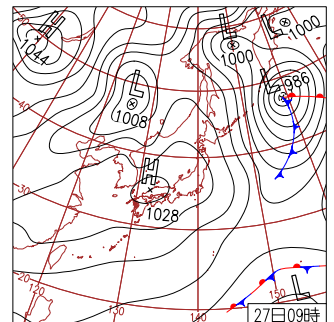
24日(金)高気圧に覆われ晴れ
南海上の高気圧に覆われて、沖縄～東日本は概ね晴れ。福島県南会津町田島では最低気温-19.2℃で1月の1位を更新。最高気温は全国的に高く、3月並となった地点が多い。



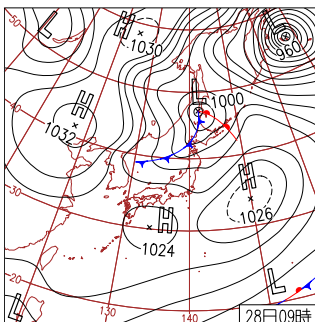
25日(土)春の気温
黄海の低気圧が発達しながら日本海へ進み、全国的に天気は下り坂で、夜には西～北日本の広い範囲に降水域拡大。全国的に暖気が入り気温は上昇、最高気温が4月並の所も。



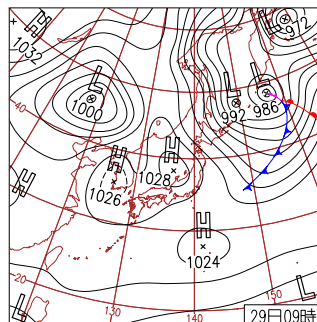
26日(日)低気圧と前線通過
北海道を低気圧が通過、遠軽町遠軽で日降雪量37cm。暖気の影響で全国的に冷え込みは弱く、朝の最低気温は3月下旬～4月下旬並の所が多い。宮崎市・横浜市でウメ開花。



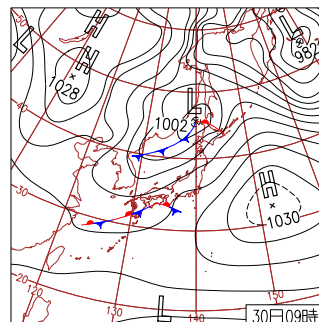
27日(月)一時的に気温低下
日本海側の一部を除き晴れ。寒気流入により、冬日は沖縄を除く地点の約9割、784地点と多かったが、冬型の気圧配置はすぐに西から緩んで昇温へ。那覇市でヒカンザクラ満開。



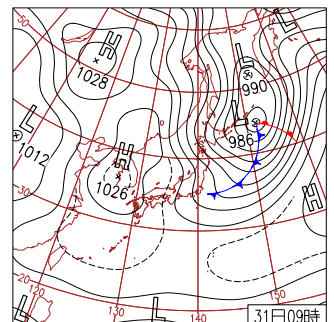
28日(火)全国的に気温上昇
低気圧が北海道の北を発達しながら東進。日本の南の高気圧から暖気が流入し3月並の暖かさ。北陸以北の日本海側は、寒冷前線により雪、金沢で6mmのひょう、前線通過後に雪。



29日(水)北日本に寒気
発達中の低気圧が千島近海を東進。北日本日本海側は寒気の影響で雪。東日本以西は、移動性高気圧に覆われ概ね晴れて気温上昇。鹿児島市・銚子市でウメ開花。



30日(木)気圧の谷通過
南岸と北日本を低気圧や前線が通過。西～東日本は西から雨となり、北日本も雪や雨。暖気流入により、北日本を中心に11地点で1月の日最高気温の1位を更新。高知市でウメ開花。



31日(金)台風第2号発生
北日本中心に強い寒気が流入、北海道えりも岬で最大瞬間風速33.1m/s、岩手県西和賀町湯田で日降雪量34cm。奄美市ヒカンザクラ満開、福岡市・下関市・名古屋市でウメ開花。